

○室内で飼育する際に気をつけていただきたいこと

犬や猫の健康と安全の確保という観点から、室内飼いは有効な飼い方ですが、室内飼育を適正に行うために、次のことに気を付けてください。

・室内の温度・湿度の管理

犬や猫は夏場などの高温が苦手です。西日が強く当たるような環境や夏場に留守にするような場合、エアコンをかけるなど、適度な室温、湿度を保つ必要があります。その際、エアコンの風が直接犬や猫に当たらないよう注意しましょう。

またいつでも自由に新鮮な水が飲めるようにしておく必要があります。

・床材の配慮

フローリングなどで滑って関節を痛めるなどの事故が起きることがあります。滑る場合にはペット専用のカーペット等を敷くなどして、歩きやすくしてあげましょう。カーペットはよく掃除をして清潔にしましょう。

・思わぬ事故の防止

犬や猫は、いろいろなものを口にしたり、観葉植物や電気製品をかじったり、物を動かして高いところにあるものを落としたりと、思わぬ行動により事故をおこす可能性があります。普段からのしつけと同時に、事故を起こさないような室内環境に気を配る必要があります。

・タバコや化学物質の影響

タバコの副流煙は人だけでなく一緒に暮らす犬や猫の健康にも悪影響を与える可能性があります。受動喫煙の害に気を付けてください。

消臭剤、殺虫剤などの化学薬品にも注意して、犬や猫の近くで使用することは控えましょう。スプレーなどをまくと下方に溜まりますので、換気を十分行いましょう。

また、犬や猫は壁紙の接着剤など、いわゆるシックハウス症候群の原因物質になるようなものに対しても敏感です。これらの化学物質は、嗅覚の鋭い犬や猫には想像以上のストレスとなる可能性があります。

・被毛の飛散

隣家など周辺環境に犬や猫の毛を飛散させないように、毛の手入れ（ブラッシング）はベランダや庭ではなく、居室内で行いましょう。バスルームでブラッシングをする場合は、排水溝にネットをかけると掃除が楽になります。

・鳴き声や足音などの騒音

犬や猫の鳴き声、室内での走り回りなどの騒音に注意し、近隣に迷惑をかけないようにしましょう。

・衛生に関すること

悪臭が近隣に伝わらないよう、トイレの位置に気を配りましょう。

ノミ、ダニ、ハエなど衛生害虫の発生を防止するため、こまめに掃除をしましょう。

害虫が発生したら、自分の家だけでなく、他のお宅に迷惑をかけるかもしれません。